

令和5年度 岐阜県全国がん登録勉強会

2022年度

全国がん登録 届出の状況

2023年7月13日(木)

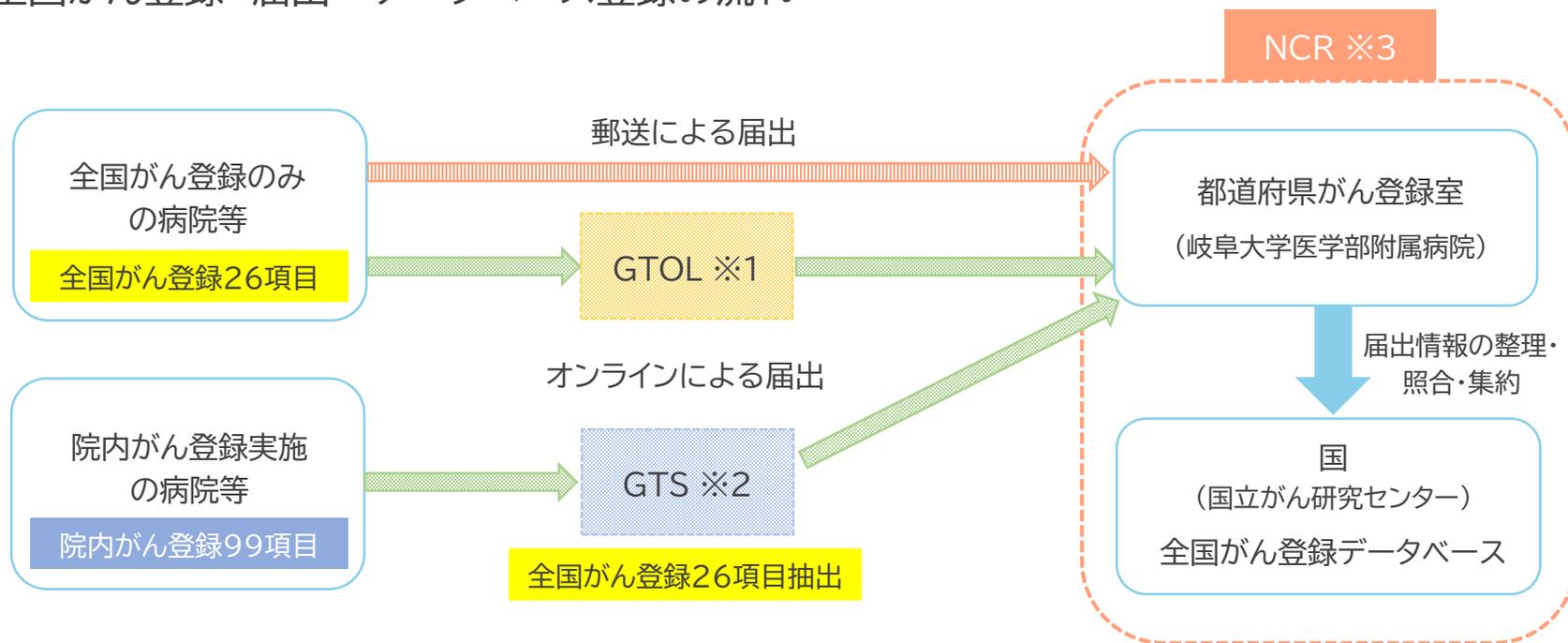
岐阜大学医学部附属病院 全国がん登録室

0. 目次

1. 全国がん登録 届出～データベース登録の流れ
2. 「全国がん登録届出票」の届出状況について
- 3-1. 「全国がん登録システム」によるエラーコードの付与状況について
- 3-2. 登録時チェックによるエラーコードの付与状況について
- 3-3. 票内チェックによるエラーコードの付与状況について(1)(2)(3)
- 3-4. 票間チェックによるエラーコードの付与状況について
- 3-5. 病院等への照会対象となったエラーコードについて
- 4-1. 「全国がん登録届出票」届出情報の照会状況について
- 4-2. 病院等へ照会し確認を依頼した項目について(1)(2)
5. 病院等の届出担当者の皆様へ
6. 各種お問い合わせ窓口

1. 全国がん登録 届出～データベース登録の流れ

■全国がん登録 届出～データベース登録の流れ



※1 GTOL(がん登録オンラインシステム)

…全国がん登録届出票及び全国がん登録遡り調査票をオンラインで届出するためのシステム

※2 GTS(がん登録共通届出システム)

…院内がん登録の「予後情報付き集計」及び「全国集計」にデータをオンラインで提出し、同時に全国がん登録への届出も完了させるためのシステム

※3 NCR(全国がん登録データベースシステム)

…届出情報の整理・照合・集約を行い全国がん登録データベースへ登録するためのシステム、全国がん登録システムとも言う

2. 「全国がん登録届出票」の届出状況について

■ 2022年度の岐阜県における「全国がん登録届出票」の届出状況

種別 \ 項目	届出を行うよう定められた施設数	届出を行った施設数	届出件数
病院	98	52	21145
指定診療所	111	16	831
合計	209	68	21976

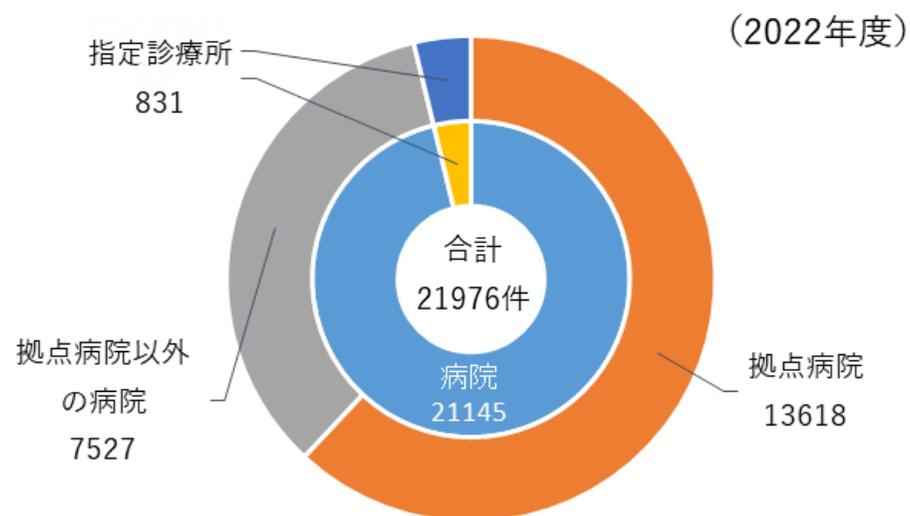
届出件数には以下の票を含む

- 重複届出…21件
- 診断日が2015年以前の届出票…6件
- 調査期間終了後に提出され「全国がん登録届出票」として登録された「全国がん登録遡り調査票」…27件

(参考)過去の届出件数

届出年度	届出件数
1996年	2,214
2001年	3,408
2006年	5,440
2011年	11,549
2016年	17,110
2021年	20,870

岐阜県がん登録届出票 届出件数



3-1.「全国がん登録システム」によるエラーコードの付与状況について

■2022年度に届出された「全国がん登録届出票」(全26項目)への、「全国がん登録システム」のチェック機能によるエラーコードの付与状況について

種別		項目	登録時チェック エラー	票内チェック エラー	票間チェック エラー
がん診療連携 拠点病院	エラー(E00000)		0	6	0
	警告(W00000)		135	872	75
拠点病院以外	エラー(E00000)		0	507	0
	警告(W00000)		119	531	10
合計			254	1916	85

集計値について

- 「岐阜県がん登録室が受理した「全国がん登録届出票」のうち、「全国がん登録システム」へ入力され、後日エラーコードを収集することができた票についての項目数。
1件の届出票に対して複数の項目にエラーコードが付与される場合がある。
- 紙の届出票の入力前の目視チェックや、電子届出ファイルのインポートエラー(桁チェック、識別不可文字や存在しない住所等の記載)時に岐阜県がん登録室の担当者が修正を行った項目は含まれない。

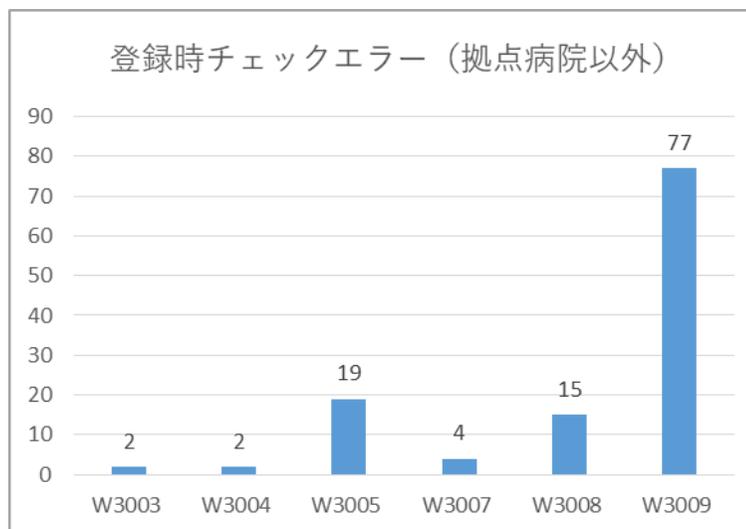
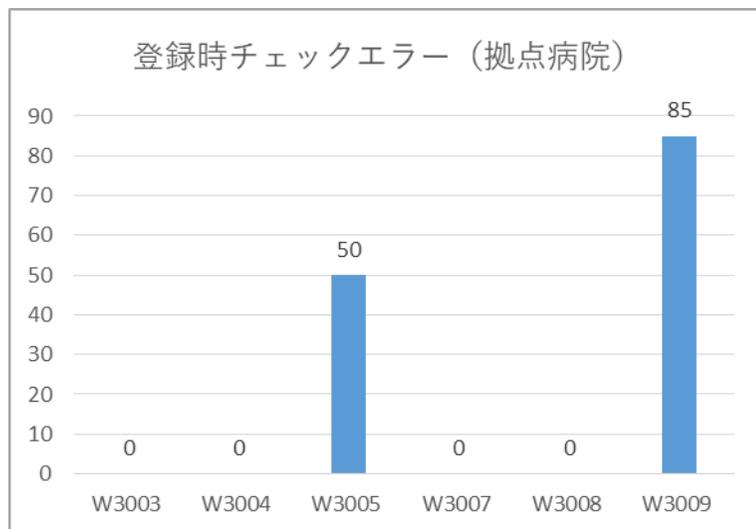
※「エラー(E00000)」…全国がん登録データベースへ登録する前に必ず記載内容の修正が必要な項目

※「警告(W00000)」…全国がん登録データベースへ登録する前に記載内容に間違いがないか確認が必要な項目

- 登録時チェック…全国がん登録システムに届出票を入力(インポート)した際に行われる、項目単体の記載内容についての検証
- 票内チェック…単一の届出票内で行われる、項目単体の記載内容、及び各項目間における論理的な矛盾の有無についての検証
- 票間チェック…入力された届出情報と、届出情報の集約過程で紐づけられた既登録情報との、項目間の相違点の有無についての検証

3-2. 登録時チェックによるエラーコードの付与状況について

■登録時チェック(全国がん登録システムに届出票をインポートした際に行われる、項目単体のチェック)によって付与されたエラーコード **254件**



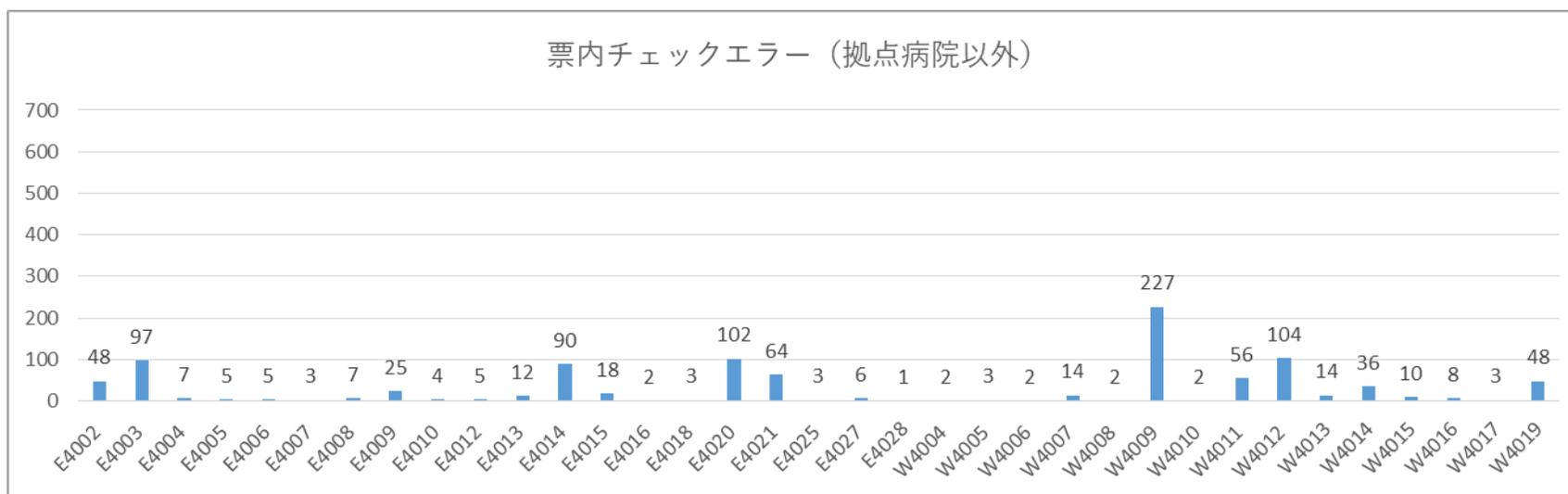
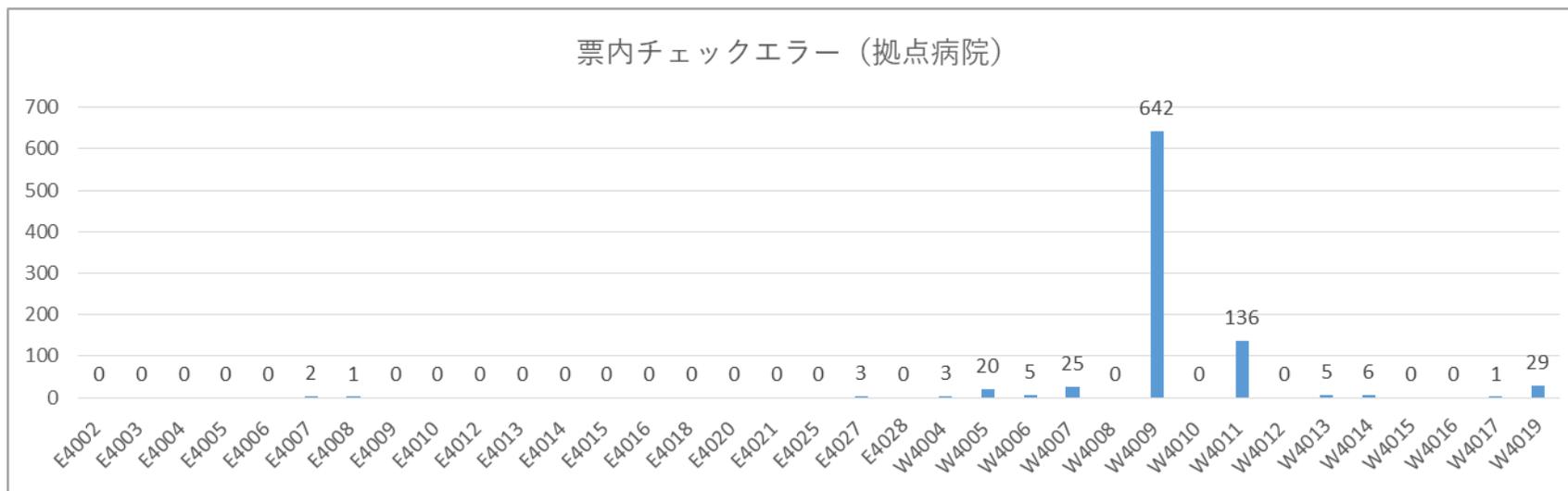
登録時チェック	タイトル	エラー内容
W3003	外国人登録の可能性	一文字以上アルファベットが存在する
W3004	外国人登録の可能性	一文字以上アルファベットが存在する
W3005	外国人登録の可能性	氏・名ともに全てカタカナ
W3007	住所がない	居住地が不明
W3008	有用でない届出の可能性	(入力年－診断日の年)が6年以上
W3009	住所が不詳	市区町村以下の住所が不明

主なエラーコード付与例

- **「W3005」**
外国籍の方のため氏名欄がすべてカタカナで記載されている場合も含まれる。
- **「W3009」**
市町村名の直後に番地が続く住所の場合も含むため、正しい住所が記載されている場合も含まれる。
(例)美濃市〇〇〇〇番地、不破郡垂井町〇〇〇〇番地

3-3. 票内チェックによるエラーコードの付与状況について(1)

■票内チェック(単一の届出票内で行われる、項目単体のチェックと項目間のチェック)によって付与されたエラーコード **1916件**



3-3. 票内チェックによるエラーコードの付与状況について(2)

票内チェック	タイトル
E4002	側性と局在コード(側性あり)が矛盾
E4003	側性と局在コード(側性なし)が矛盾
E4004	側性(両側)と局在コードが矛盾
E4005	局在コードと進展度・治療前(777)が矛盾
E4006	局在コードと進展度・術後病理学的(777)が矛盾
E4007	組織形態コード・性状が存在しない
E4008	組織形態コード・性状と分化度が矛盾
E4009	組織形態コードと診断根拠が矛盾
E4010	性状(3)と進展度・術後病理学的が矛盾
E4012	性状(2)と進展度・治療前と切除の範囲が矛盾
E4013	性状(3)と進展度・治療前と切除の範囲が矛盾
E4014	治療施設と進展度・術後病理学的が矛盾
E4015	治療施設と初回治療の有無
E4016	診断日と生年月日が矛盾
E4018	診断日と死亡日が矛盾
E4020	観血的治療の有無と進展度・術後病理学的(660,777)が矛盾
E4021	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の有無と外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲が矛盾

主なエラーコード付与例

- [「E4002」](#)
側性のある器官に対して、側性を「7(側性なし)」としている。
(例)原発部位「C44.5 体幹の皮膚」に対して、側性が「7(側性なし)」
- [「E4003」](#)
側性のない器官に対して、「7(側性なし)」以外を選択している。
(例)原発部位「C80.9 原発部位不明」に対して、側性が「9(側性不明)」
- [「E4014」](#)
治療施設が「1.自施設で治療せず、他施設に紹介またはその後の経過不明」または「4.他施設で初回治療終了後に、自施設に受診」の場合に、進展度・術後病理学的の項目で「660(手術なし・術前治療後)」または「777(局在コードがC42.0またはC42.1)」以外を選択している。
- [「E4020」](#)
観血的(外科的・鏡視下の・内視鏡的)治療の範囲が「6.観血的治療なし」の場合に、進展度・術後病理学的の項目で「660(手術なし・術前治療後)」または「777(局在コードがC42.0またはC42.1)」以外を選択している。

3-3. 票内チェックによるエラーコードの付与状況について(3)

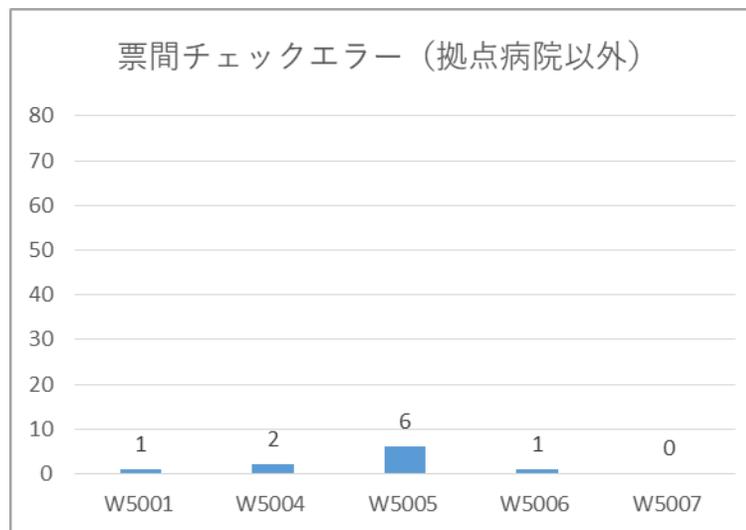
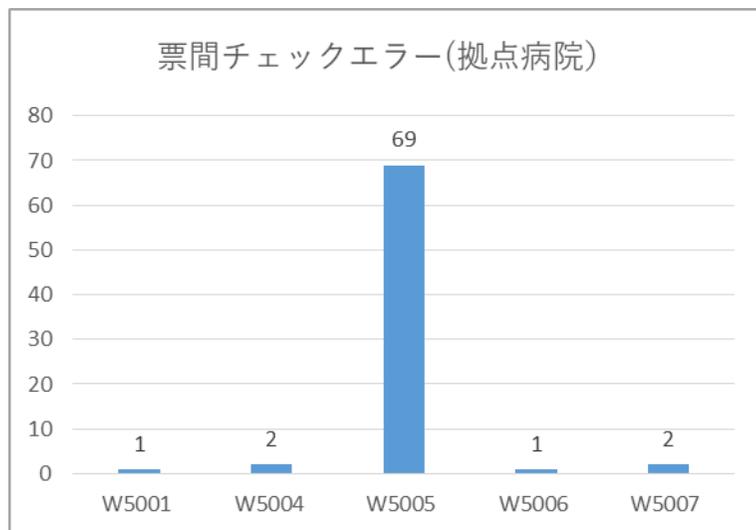
票内チェック	タイトル
E4025	性状(2)と進展度・術後病理学的が矛盾
E4027	登録対象外の原発部位・局在コードと病理診断・形態コードと性状コードの組み合わせ
E4028	診断時年齢が120歳以上
W4004	局在コードと年齢が矛盾
W4005	組織形態コード・性状と年齢が矛盾
W4006	住所定義の廃止処理年月と診断日が矛盾
W4007	側性(両側)と組織形態コードが矛盾
W4008	局在コードが廃止されたコードである
<u>W4009</u>	原発部位・局在コードと病理診断・形態コードと性状コードの組み合わせが稀である
W4010	組織形態コード・性状が廃止されたコードである
<u>W4011</u>	組織形態コード・性状と分化度が稀である
<u>W4012</u>	診断根拠と組織形態コード・性状が矛盾
W4013	局在コードと進展度・治療前(777)が矛盾
W4014	局在コードと進展度・術後病理学的(777)が矛盾
W4015	性状(3)と進展度・治療前と術後病理学的が矛盾
W4016	性状(2)と進展度・治療前と術後病理学的が矛盾
W4017	診断日と生年月日が同日
<u>W4019</u>	治療施設が8(その他)

主なエラーコード付与例

- 「E4021」
外科的・鏡視下・内視鏡的治療の有無のいずれかが「1.自施設で施行」の場合に、観血的治療の範囲が「6.観血的治療なし」を選択している。もしくは、外科的・鏡視下・内視鏡的治療の有無がいずれも「2.自施設で施行なし」の場合に、観血的治療の範囲で「6.観血的治療なし」以外を選択している。
- 「W4009」
2019年診断症例から採用されたICD-O「ルールF」が適用されている場合を含む。
(例)管状腺癌8211/3(本来は性状3の浸潤癌のみ)
→病理医の判断等により、上皮内管状腺癌8211/2(非浸潤癌)で届出が可能
- 「W4011」
形態コードと性状コードの組み合わせに対して稀な分化度が入力されている。
- 「W4012」
診断根拠が病理診断以外であるのに、病理診断に基づく形態コードと性状コードの組み合わせが付与されている。
(例)病理診断・形態コード…8140/3 腺癌
診断根拠…5.臨床診断
- 「W4019」
治療施設が8(その他)の場合は必ずチェック対象となる。

3-4. 票間チェックによるエラーコードの付与状況について

- 票間チェック(入力された届出情報と、届出情報の集約過程で紐づけられた既登録情報との項目間のチェック)によって付与されたエラーコード **85件**



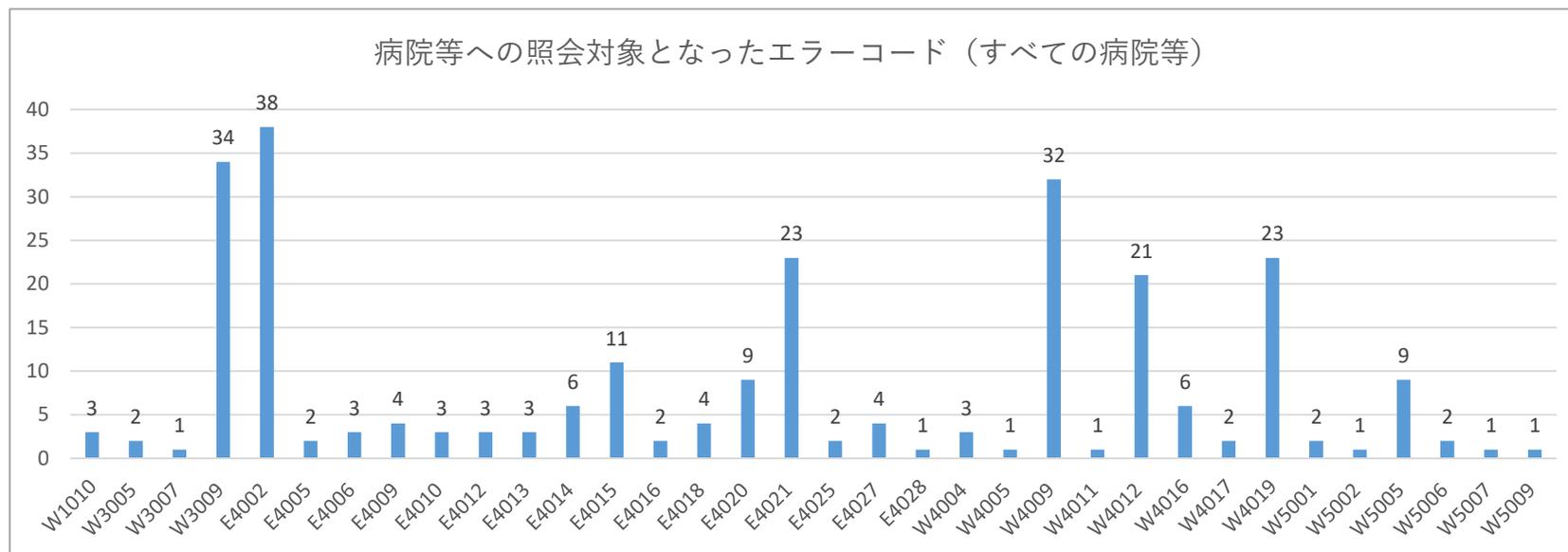
票間チェック	タイトル
W5001	性別が矛盾
W5004	入力データと都道府県がん情報のデータが一致
W5005	同定内容の確認(氏名)
W5006	同定内容の確認(性別)
W5007	同定内容の確認(生年月日)

主なエラーコード付与例

- **「W5005」**
氏名の異体字の表記方法が異なる場合も含む。
(例)「高(はしごだか)」
…「高」で届出されている票と「高」で届出されている票がある。

3-5. 病院等への照会対象となったエラーコードについて

■ 病院等への照会対象となったエラーコード 263件



※「W1010 識別不可文字が存在する」/「W5002 票の死亡日と基本情報の死亡日が矛盾」/「W5009 同定内容の確認(死亡日)」
…前項迄のエラーコード集計には計上できなかったが、エラー自体は発生しており、照会対象になった項目。

照会対象から除外されたエラーコードについて

- 都道府県がん登録室担当者の目視によるチェックのみで処理可能な場合(ルールF適用症例に対する確認の指示等)、及び票内の他の項目や既に登録されている他の病院等の届出情報から修正が可能なエラーについては、病院等への照会対象から除外している。

4-1.「全国がん登録届出票」届出情報の照会状況について

■ 疑義のある「全国がん登録届出票」等の届出情報について、2022年度に病院等へ照会した状況について

届出を行った施設数	照会を行った施設数	照会を行った回数
68	44	53

種別	項目	届出票の件数	確認を依頼した項目数
	エラーコードの修正のため照会対象となったもの	193	482
	岐阜県がん登録室の判断で照会対象となったもの	59	79
	合計	252	561

照会を行った回数について

- 回答のない施設への再照会、照会回答への再度の照会、及び「全国がん登録遡り調査票」についての照会を含む。
- 岐阜大学医学部附属病院への照会分を除く。

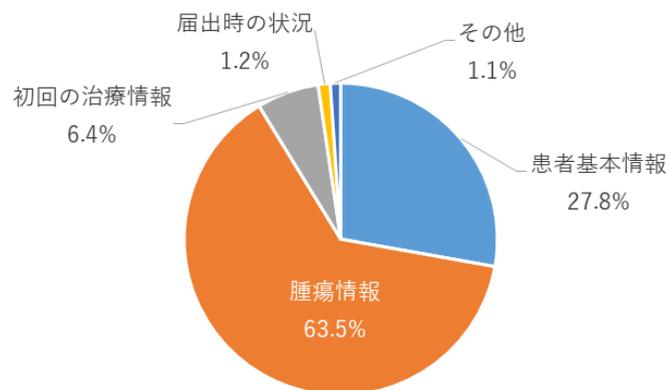
照会対象となった届出票について

- がん登録室担当者による確認チェックや修正によりエラーを解消することができない届出票と、エラーコードは付与されていないが、記載内容の正確性が疑われる届出票を照会対象とした。
- 2021年度以前に届出された「全国がん登録届出票」及び「全国がん登録遡り調査票」について照会を行った件数を含む。
- 岐阜大学医学部附属病院への照会分を除く。

4-2. 病院等へ照会し確認を依頼した項目について(1)

■ 2022年度に病院等へ確認を依頼した「全国がん登録届出票」の項目 **561項目**

種別	項目	確認を依頼した項目
	患者基本情報	156
	腫瘍情報	356
	初回の治療情報	36
	届出時の状況	7
	その他	6
	合計	561



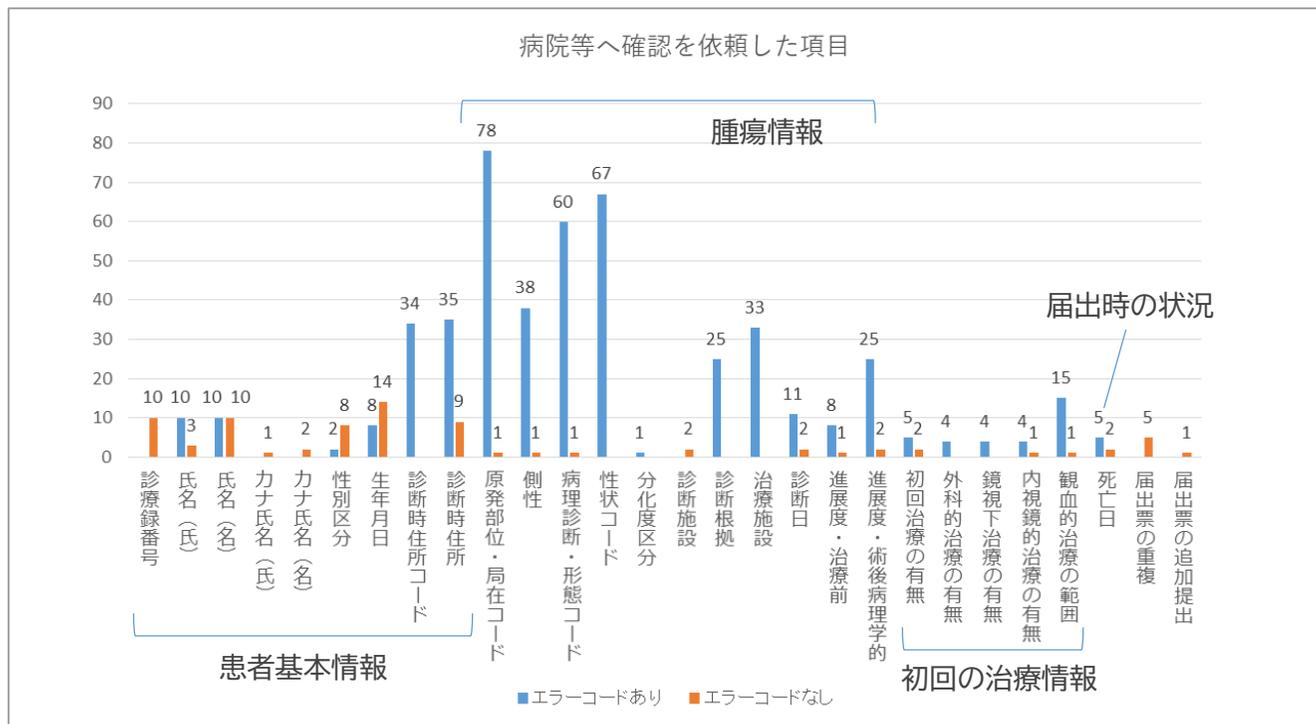
確認を依頼した項目の内訳

主な照会例

- 「患者基本情報」
(例1)他院から届出された同一人物と思われる方の届出情報と生年月日が一致していない。
(例2)診断時住所の一部(字名や丁目)が欠落している。
- 「腫瘍情報」
(例3)側性のある器官(C445 体幹の皮膚 等)に、左右または不明が入力されていない。
(例4)病理診断・形態コードと診断根拠が矛盾している。
- 「初回の治療情報」
(例5)外科的・鏡視下・内視鏡的治療「2自施設で施行なし」で、観血的治療の範囲が「4腫瘍遺残あり」となっている。
- 「届出時の情報」
(例6)他院から届出された同一人物と思われる方の届出情報と死亡日が一致していない。
- 「その他」
(例7)同一の施設から、ある届出対象者について複数の届出票が出ており、病理診断結果がわずかに違う。同じがんについての届出か否か。

4-2. 病院等へ照会し確認を依頼した項目について(2)

■2022年度に病院等へ確認を依頼した「全国がん登録届出票」の項目の内訳



各項目記入時のお願い

- 「患者基本情報」…他の届出情報や死亡情報と照合し同一人物か否かの判断を行う際に非常に重要となります。転記間違い、変換間違い等にお気を付けください。
- 「腫瘍情報」、「初回の治療情報」…『全国がん登録届出マニュアル』を確認し、届出ルールに沿った内容を記入してください。
- 「届出時の状況」(死亡日)…届出の対象者が自施設で亡くなった時のみ記入してください。紹介先等から死亡情報を伝達された場合は、備考欄にご記入ください。

5. 病院等の届出担当者の皆様へ

- 「全国がん登録届出票」を作成及び届出していただきありがとうございます。
また、岐阜県がん登録室からの照会に対し、毎回迅速にご回答くださいますようお願いいたします。
- 今回初めて、「全国がん登録届出票」に対する全国がん登録システムによるエラーコードの付与状況と病院等への照会状況を集計ご紹介しました。
診断時住所や腫瘍の側性、診断根拠、初回治療の有無などの項目を中心に、毎年数百件の項目が病院等への照会対象となっています。
- 「全国がん登録届出票」の作成にあたっては、『全国がん登録届出マニュアル2022』（国立研究開発法人国立がん研究センター発行）等をご参照ください。
- 「電子届出票」に妥当な選択肢が見当たらない場合や、登録対象であるかどうか分からない場合、詳細な診断情報はあるがどのように入力してよいか分からない場合等は、備考欄にお分かりになる範囲の情報を詳細に記入してください。岐阜県がん登録室にて備考欄の記載内容に合わせ各項目を適宜修正いたします。また、届出票の備考欄に紹介元や紹介先の医療機関名等を記入して頂けると、そちらの情報と照合することで修正できる場合があります。お手数をおかけしますが、是非ご記入ください。
- 今後とも「全国がん登録」へのご協力を、よろしくお願い申し上げます。

6. 各種お問い合わせ窓口

- 全国がん登録への届出に関すること(届出票の作成や遡り調査票の記入、届出方法等)

岐阜大学医学部附属病院 全国がん登録室

住所 〒501-1194 岐阜市柳戸1-1

電話番号 058-230-6000(内線6497) / 受付時間 平日10:00~16:30

※岐阜大学医学部附属病院は、がん登録等の推進に関する法律第24条の規定に基づき、都道府県知事から全国がん登録に係る権限および事務の委任を受けています。

- 岐阜県のがん登録に関すること(診療所の指定の変更等)

岐阜県 健康福祉部保健医療課 健康推進室 がん・受動喫煙対策係

住所 〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

電話番号 058-272-1111(内線3321)

- 全国がん登録への届出に関すること(『全国がん登録届出マニュアル2022』のダウンロード、がん登録オンラインシステムの説明、電子届出票のダウンロード、Hos-CanR Liteの提供等)
国立がん研究センター運営のwebサイト「がん情報サービス」内「全国がん登録」のカテゴリの「病院・診療所向け情報」をご覧ください。

URL https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/national/hospital/index.html